平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月29日

上場会社名　株式会社 魚力　　上場取引所　東
コード番号　7596　URL　http://www.uoriki.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 中田　雅明
問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長　(氏名) 伊藤　忠彦　TEL 042-648-8868

四半期報告書提出予定日　平成23年8月12日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	6,213	4.2	197	116.3	183	263.1	99	949.5
23年3月期第1四半期	5,965	△1.7	91	△48.6	50	△60.6	9	△85.1

(注)包括利益　24年3月期第1四半期　97百万円　(―%)　23年3月期第1四半期　△245百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	6.81	―
23年3月期第1四半期	0.65	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	14,798	12,213	82.5
23年3月期	15,228	12,408	81.5

(参考) 自己資本　24年3月期第1四半期　12,208百万円　23年3月期　12,404百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	0.00	―	20.00	20.00
24年3月期	―				
24年3月期(予想)		0.00	―	15.00	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　有
配当予想の修正については、本日(平成23年7月29日)公表いたしました「平成24年3月期配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,760	0.6	134	―	134	―	74	―	5.06
通期	25,000	1.5	600	53.7	600	71.4	330	152.4	22.57

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	14,620,000 株	23年3月期	14,620,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	165 株	23年3月期	100 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	14,619,848 株	23年3月期1Q	14,619,900 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続が実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報……２

（１）連結経営成績に関する定性的情報……２
（２）連結財政状態に関する定性的情報……３

２．サマリー情報（その他）に関する事項……３

３．四半期連結財務諸表……４

（１）四半期連結貸借対照表……４
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間……５
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間……６
（３）継続企業の前提に関する注記……７
（４）セグメント情報等……７
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記……７

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、資源価格の高騰や円高の長期化、米国の景気減速などを背景として企業収益の悪化が懸念される中、東日本大震災発生により、製造業を中心としたサプライチェーンは大きな打撃を被るとともに、原子力発電所の事故による電力不足への対応など、極めて厳しい状況で推移いたしました。

小売業界におきましても、依然として厳しい雇用・所得環境が続く中、震災以降の防災対策や節電対策に伴い生活者のライフスタイルは大きく変わりつつあり、消費者の生活防衛意識は更に高まりを見せ、経営環境は厳しい状況が続いております。

このような環境の中、当社グループにおきましては、今年度の経営目標に「改革の断行による経営基盤の再構築」を掲げ、店舗運営体制の見直しや、本部運営コストの削減、各事業の収益確保に取り組み、グループ全体の業績回復をめざしてまいりました。

その結果、当社グループの当第１四半期連結累計期間の売上高は62億13百万円（前年同期比4.2％増）、営業利益は１億97百万円（前年同期比116.3％増）、経常利益は１億83百万円（前年同期比263.1％増）、四半期純利益は99百万円（前年同期比949.5％増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①小売事業

小売事業におきましては、３月に発生した東日本大震災以降の消費マインドの冷え込みや、花見などのイベントの自粛などにより、４月～５月の既存店舗の売上高は対前年同期比５％～６％の減少で推移しました。６月は顧客の消費回復の兆しも見られ、ほぼ前年並みの売上高で推移しておりましたが、月末には昨年の猛暑を思わせる真夏日が増え客足が鈍るとともに、一部で原子力発電所の事故による放射能汚染の風評被害も見られ、同月の対前年同期比は3.8％の減少となりました。

しかしながら、昨年９月にオープンするまでの約半年間は営業面積を大幅に縮小した仮営業を余儀なくされた吉祥寺店の改装効果と、前期出店した新店の増収効果があり、全体の売上高では対前年同期比3.0％の増加となりました。

また、店舗運営体制見直しの一環として、昨年導入した就業管理システムを活用し、店舗での効率的な稼働計画の作成と総労働時間のコントロールを行い、人件費の適正化に取り組むとともに、店舗の包装用品費や水道光熱費などの管理可能経費については、単価の引き下げや使用量の抑制により経費削減を図ってまいりました。

その結果、売上高は48億38百万円（前年同期比3.0％増）、営業利益は２億53百万円（前年同期比46.3％増）となりました。

②飲食事業

飲食事業におきましては、外食業界の熾烈な出店競争や価格競争が激化する厳しい環境に加え、４月は震災の影響による宴会や歓送迎会の自粛が見られたものの、積極的なイベントや販促企画の実施等により集客に努めたことが奏功し、居酒屋店舗につきましては、既存店舗の売上高は対前年同期比1.8％の増加となりました。しかしながら、寿司店舗の既存店舗の対前年同期比は3.5％の減少となり、飲食事業全体では、既存店舗の対前年同期比は0.5％の減少となりました。

その結果、売上高は２億35百万円（前年同期比12.3％減）、営業利益は６百万円（前年同期は営業損失６百万円）となりました。

③卸売事業

卸売事業におきましては、当社卸売部門では主要取引先のスーパーマーケットの取引先数の減少に伴う売上減に加え、メーカーへの魚卵販売の売上高も前年に比べ約６割の成立に留まり、売上高の対前年同期比は16.9％の減少となりました。

米国子会社ウオリキ・フレッシュ・インクは米国内の売上高を対前年同期比32.4％増の３億96百万円にまで伸長し、営業利益は３百万円となりました。

また、設立２年目を迎えたＵＫトレーディング株式会社は、グループ外の売上高を１億63百万円にまで伸長し、営業利益は４百万円となりました。

その結果、グループ全体の卸売事業の売上高は11億38百万円（前年同期比14.2％増）、営業利益は10百万円（前年同期は営業損失２百万円）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

当第１四半期連結会計期間末における流動資産は41億97百万円となり、前連結会計年度末に比べ２億94百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が４億42百万円減少したことによるものであります。固定資産は106億０百万円となり、前連結会計年度末に比べ１億35百万円減少いたしました。これは主に投資有価証券が71百万円、有形固定資産が37百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、147億98百万円となり、前連結会計年度末に比べ４億30百万円減少いたしました。

（負債）

当第１四半期連結会計期間末における流動負債は21億15百万円となり、前連結会計年度末に比べ１億72百万円減少いたしました。これは主に未払法人税等が１億86百万円減少したことによるものであります。固定負債は４億69百万円となり、前連結会計年度末に比べ62百万円減少いたしました。これは主に長期未払金が62百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、25億85百万円となり、前連結会計年度末に比べ２億35百万円減少いたしました。

（純資産）

当第１四半期連結会計期間末における純資産合計は122億13百万円となり、前連結会計年度末に比べ１億95百万円減少いたしました。これは主に四半期純利益99百万円及び剰余金の配当２億92百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は82.5％（前連結会計年度末は81.5％）となりました。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成23年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,675,264	1,232,505
受取手形及び売掛金	1,292,579	1,488,394
有価証券	83,160	80,550
商品及び製品	1,191,122	1,097,772
原材料及び貯蔵品	18,691	18,573
その他	234,791	283,815
貸倒引当金	△3,186	△3,792
流動資産合計	4,492,424	4,197,820
固定資産		
有形固定資産	2,409,386	2,372,199
無形固定資産	343,216	349,070
投資その他の資産		
投資有価証券	5,579,017	5,507,247
その他	2,404,710	2,371,859
投資その他の資産合計	7,983,727	7,879,107
固定資産合計	10,736,330	10,600,377
資産合計	15,228,754	14,798,198
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	866,816	820,509
未払法人税等	251,130	64,826
賞与引当金	187,316	283,654
その他	983,220	947,006
流動負債合計	2,288,483	2,115,997
固定負債		
退職給付引当金	46,711	50,047
その他	485,199	419,095
固定負債合計	531,911	469,142
負債合計	2,820,394	2,585,140
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,563,620	1,563,620
資本剰余金	1,441,946	1,441,946
利益剰余金	11,031,826	10,838,985
自己株式	△119	△176
株主資本合計	14,037,272	13,844,375
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△591,678	△592,731
土地再評価差額金	△1,039,645	△1,039,645
為替換算調整勘定	△1,891	△3,176
その他の包括利益累計額合計	△1,633,214	△1,635,552
少数株主持分	4,302	4,234
純資産合計	12,408,360	12,213,057
負債純資産合計	15,228,754	14,798,198

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）
売上高	5,965,295	6,213,647
売上原価	3,540,746	3,710,724
売上総利益	2,424,548	2,502,922
販売費及び一般管理費	2,333,362	2,305,645
営業利益	91,186	197,277
営業外収益		
受取利息	7,853	6,464
受取配当金	10,646	6,449
不動産賃貸料	6,114	5,670
雑収入	6,940	4,306
営業外収益合計	31,554	22,890
営業外費用		
不動産賃貸費用	3,485	3,280
デリバティブ評価損	30,914	2,289
為替差損	36,226	30,785
その他	1,496	－
営業外費用合計	72,123	36,355
経常利益	50,617	183,811
特別利益		
固定資産売却益	232	1,288
特別利益合計	232	1,288
特別損失		
固定資産売却損	17	－
固定資産除却損	496	684
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	10,181	－
特別損失合計	10,695	684
税金等調整前四半期純利益	40,154	184,415
法人税、住民税及び事業税	53,725	56,692
法人税等調整額	△23,056	28,164
法人税等合計	30,668	84,857
少数株主損益調整前四半期純利益	9,485	99,557
四半期純利益	9,485	99,557

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	9,485	99,557
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△251,357	△1,052
為替換算調整勘定	△3,468	△1,353
その他の包括利益合計	△254,825	△2,405
四半期包括利益	△245,340	97,152
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△245,166	97,219
少数株主に係る四半期包括利益	△173	△67

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）セグメント情報等
（セグメント情報）
Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自　平成22年４月１日　至　平成22年６月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	小売事業	飲食事業	卸売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,698,425	269,191	997,678	5,965,295	－	5,965,295
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	98,074	98,074	△98,074	－
計	4,698,425	269,191	1,095,752	6,063,369	△98,074	5,965,295
セグメント利益又は損失（△）	173,562	△6,846	△2,978	163,736	△72,550	91,186

（注）１．セグメント利益又は損失（△）の調整額△72,550千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。その全社費用は、主に総務・財務経理部門等の管理部門に係る費用であります。
２．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年６月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	小売事業	飲食事業	卸売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,838,708	235,946	1,138,991	6,213,647	－	6,213,647
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	266,038	266,038	△266,038	－
計	4,838,708	235,946	1,405,030	6,479,685	△266,038	6,213,647
セグメント利益	253,957	6,068	10,621	270,647	△73,370	197,277

（注）１．セグメント利益の調整額△73,370千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。その全社費用は、主に総務・財務経理部門等の管理部門に係る費用であります。
２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。